

令和7年10月定例記者会見

令和7年9月26日（金）午前11時00分～

<主な発表項目>

・国勢調査

国勢調査が10月1日を調査日として実施される。

国勢調査を装った不審メールが送付される事案が発生している。国勢調査員が、メールにより調査への回答を依頼することはないので、メールに表示されているURLにはアクセスしないよう注意していただきたい。また、不審な訪問者や電話などにも十分に注意していただきたい。不審に思った際には回答せず、市の国勢調査担当あてに連絡してほしい。

5年前のインターネット回答率は、富山県が全国1位（45.0%）、本市については県内の市の中で第1位（50.4%）であったことから、今回も皆様のご協力をお願いしたい。

国勢調査は、国の最も基本的な統計調査であり、その結果は各種行政施策の基礎資料となるものである。本市においても、総合計画等の重要な計画策定の資料として活用していることから、今後も調査員とも充分に連携し、調査事務に万全を期したい。

○窓口利用体験調査

これまでも、窓口での手書きを少なくする「スマート窓口サービス」を導入する等、窓口DXを推進してきたところである。この度、更なる市民サービスの向上と業務効率化に向けた窓口改革に取り組むこととし、デジタル庁が推進する「窓口BPR※アドバイザー派遣事業」を実施する。

※BPR・・・Business Process Re-engineering

目指す方向性は、「書かない」「待たない」「回らない」窓口の実現であり、これにより、市民の皆さんは、手書きの申請を減らし、複数の窓口を回ることなく、よりスムーズに手続きを済ませられるようになる。

まずは、専門知識をもつアドバイザーの助言を得て、「窓口利用体験調査」を実施する。職員が来庁者の立場で、実際に窓口を体験することで、普段気づきにくい非効率な点や改善すべき点を把握したいと考えている。

今年度は、調査を元に改革のロードマップを作成し、できるところから改革に着手し、令和8年度以降システムの導入も含めた本格的な業務改革に取り組む予定としている。

○2025となみ夢の平コスモスウォッチング

となみ夢の平スキー場では、10月3日（金）～13日（月）の11日間、秋の花イベントである「2025となみ夢の平コスモスウォッチング」を開催する。

今年の夏は、猛暑が続き降雨も少なかったため例年より会場のコスモスの生育が遅れている。開幕時の開花状況は2割～3割となる模様だが、期間を通して美しい花を鑑賞していただきたい。

運営や人件費の高騰もあり今シーズンから有料化となる。駐車料の徴収は行わない。

会場内では、リフト運行や屋外での飲食・物販コーナーを設ける。特に飲食・物販コーナーでは、通常メニューのほか、となみブランドの「せんだん山そば」や地元産食材をふんだんに使った「山菜きのこそば」、「コスモス弁当」なども販売され、食の面でも砺波を満喫することができる。

このほか、多くのキッチンカーによる食も堪能いただける。

山頂展望台でゆっくりと散居村の景観も楽しんでいただきたい。

○秋の剪定枝リサイクル大作戦

11月8日（土）9日（日）、秋の剪定枝リサイクル大作戦を実施する。

剪定の適期でもある11月に屋敷林剪定枝を拠点で収集し、その処理費用を全額市が負担することで、①屋敷林所有者の経済的負担を軽減、②野焼きによらない処理の普及と環境保全の効果を見込んでいる。

運搬手段をもたない方や高齢者の運搬を手伝うなど、地域ぐるみの「共助」の取組も徐々に広がっており、今後も連携し一体となって、屋敷林保全支援に取り組んでいきたい。

収集した剪定枝は、市がリサイクル処理施設に直接運搬し、全て堆肥等としてリサイクルしており、資源を地域で循環させる自然に優しい取り組みとなっている。